

石川県教育支援センター 平成30年度

やすらぎ金沢通信 4月

☆URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~yasuka>

☆E-mail yasuka@m1.ishikawa-c.ed.jp

☆Tel 076-243-1612



また、新しい春となり、学校では新学期が始まりました。やすらぎ金沢教室も新スタッフで、新たなスタートを切りました。今年はどんな出会いが待っているのでしょうか。今年度も一人ひとりに寄り添い、支援をしていきます。よろしくお願いいたします。

平成30年度 スタッフ

室長	澤田 豊	(金沢中央高等学校校長)
副室長	鋪村 重成	(" 昼間制教頭)
指導員	木越 明子	山崎 記英子
相談員	藤田 耕造	

ご挨拶

やすらぎ金沢教室 副室長 鋪村 重成

この度の定期人事異動で金沢中央高校に昼間制教頭として赴任し、やすらぎ金沢教室の副室長を務めさせていただきます鋪村(しきむら)と申します。5年前の平成25年度から3年間本校の夜間部に教頭として勤務していました。その時は、柔道部の顧問をしており、昼間制・夜間制の合同チームで定通の全国大会や北信越大会にも出場していました。その頃の部員の中に、中学時代から不登校傾向が強く、昼間制に入学後も毎日のようにやすらぎ金沢教室で休憩を取りながら、授業や部活動に取り組んでいる生徒がいました。彼は、何事にも手を抜くことのできない性格で、登校してから帰宅するまで緊張しっぱなしの日々を送っていました。柔道部活動でも、真面目に取り組み過ぎていっぱいになり、何度か部活を辞めたいと言い出したことがありました。その度になんとか踏みとどまってくれましたが、彼にとって大きかったのは、やすらぎ金沢教室の存在でした。肩の力を抜き、自分らしくいられる時間と空間を持つことで、切れかかったエネルギーが充電されていたのだと思います。平成27年度の北信越大会では団体優勝、個人3位になり、少し自信にあふれた表情を見せてくれたのが印象的でした。

関わり方は色々だと思いますが、心のエネルギーが少しずつでも充電されていくことを期待して支援活動に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



やすらぎ金沢教室は

学校に行けなくなったあなたに対して、ゆっくりと安心できる場所・心と身体を休める居場所を提供します。悩んでいるあなたと一緒に歩む教室です。

新スタッフ紹介

これまでの教員生活において、いろいろな立場で生徒と関わり、不登校の生徒も少なからず見てきました。不登校には、一人ひとり様々な要因が複合的に絡んでいて、その対応はもちろん簡単ではありません。相談員として微力ではありますが、生徒本人や保護者の方が少しでも良い方向に進んでいけるように支援できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

相談員 藤田 耕造

柔らかな春の風が心地よく感じる季節となりました。4月より、やすらぎ金沢教室に勤務することになりました。これまでの経験を活かし、変化の激しい現代社会の中で、心を傷め、不安を抱く生徒さんに寄り添い、支援にあたっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

指導員 山崎 記英子

医療相談会

☆申込み問い合わせは、やすらぎ金沢教室までお電話下さい。

せっかく入学した高校になじめない、進級はしたけれど不安が多くて登校できない、これではダメだという思いばかりが空回りして落ち込むことも。保護者の方々も辛い思いを抱えてしまいます。そんな時はまず、身近な人に相談しましょう。特に心や身体の不調など専門家のアドバイスがほしい時、病院へ行くほどではないと思うことはありませんか。そんな時は、「やすらぎ金沢教室」の医療相談会を利用して下さい。ゆっくり時間をかけて悩みを聞いてもらうことでかなり心の負担が軽減されます。また、医療機関につながる必要がある場合なども適切なアドバイスがいただけます。お気軽にご相談ください。（生徒・保護者・教員対象）

第1回	5月10日(木)	14:00~16:00
第2回	5月17日(木)	〃
第3回	5月31日(木)	〃
講師	臨床心理士 柏谷真由美先生(金沢医科大学病院)	
会場	やすらぎ金沢教室	

今年度も28回開催します。6月、10月の2回は岡田淳夫先生(かないわ病院)、他の26回は柏谷真由美先生が担当します。

金沢地区高等学校 相談担当の先生方へ

昨年度本教室への年間相談数は607件で、通室生はのべ80日(3名)顔を出してくれました。多くの相談の中から通室まで至るのはほんのわずかですが、通室の効果は大きいです。暗い表情がいつの間にか明るくなり、挨拶もできなかった生徒が笑顔を見せてくれる。たとえ現在の学校に戻れなくとも、ほとんどの生徒が学業に復帰しています。先生方のご努力のもと、各学校での支援が充実され、相談室登校等で対応されている場合も多くなっていますが、そこにも足を向けることができない生徒にはぜひ本教室をご紹介ください。一人ひとりに寄り添い、少しでも前を向いて進んでいけるように考えていきます。